

VAST (Vietnamese Academy of Science and Technology)

VAST (正確には, Vietnamese Academy of Science and Technology と云います) は, ベトナム国立の大学院大学 (研究・教育機関) で, Institute of Mathematics, Hanoi はその一部です。明治大学と比較しながら説明しますと, VAST が大学全体で, Institute of Mathematics は, 各学部に対応しますが, VAST は研究を主要な使命としていて, 教育機関としては大学院しか持っていません。学生たちはすべて, 修士課程か博士課程の学生です。

ベトナムでも, 最近は多くの私立大学が設立されていますが, 教育の質 (水準) には課題が多いようです。国立・私立を問わず, 大学は基本的には修士課程までしか備えず, 博士課程の訓練は, 外国に送り出すか, または VAST が一手に引き受けているのが実状です。大学学部を卒業した人々は, VAST の大学院に進学するか, すぐに大学に職を得て, 傍ら (自分の大学の) 修士課程に在籍し, 研究者としての訓練を受けるようです。従って, 大学教員の多くが博士の学位を持っておらず, 各大学の教員は, 例えば在職のまま VAST に学生として在籍し, 博士の学位を取得して所属大学に帰任するというやり方をしているようです。

ですから, VAST はベトナムでは (日本で言えば, 旧帝国大学をすべて合わせたような) 唯一無二の強大な組織で, 従ってベトナムの学問研究の将来に対し, 重い責任を負います。

さて, 本学の MIMS は IMVAST (Institute of Mathematics, Hanoi のことです) との間に, 研究・教育に関する協定を結んでいます。この協定は, 本学の科学技術研究所重点研究費を資金に 2008 年に横浜で開催された国際会議 (後藤の他に, MIMS の学外研究員が主催しました), Commutative Algebra in Yokohama, March 17-21, 2008 で調印されたものです。先方は IMVAST の所長である Ngo Viet Trung 教授, 当方は MIMS の副所長である後藤が調印しました。正式の文書は MIMS が保管しています。

協定の目的は, 下記の 2 点です。

- ①両研究所の研究者の相互交流と派遣, 共同研究実施
- ②両研究所に所属する大学院学生の相互交流と共同研究指導体制の樹立

上に述べましたように, IMVAST は数学研究所で, かつ大学院大学です。学部組織は在りませんが, 大学院は修士課程・博士課程を備えていて, 博士学位取得後もポスドクとして研究活動に専念できる体制があります。繰り返しになりますが, IMVAST はベトナム最高の数学研究機関で, ベトナムでは比肩するものがない, 非常に強力な存在です。

この協定は, 既に 2001 年から始まっていた日本とベトナムの間の「Commutative Algebra (可換代数)」の共同研究集会 Japan-Vietnam Joint Seminar on Commutative Algebra 開催 (ベトナムと日本で隔年開催。跳んでいる年もありますが, 今年は第 7 回目が, 12 月 12 日—16 日にベトナムの Quy Nhon で開催されました) を基盤に, 日本学術振興会の論博事業による大学院学生 (とはいっても, 修士課程は修了し, ベトナムの大学の専任教員をしている人々です) の本学受け入れ (3 名, 1 名が学位取得, 1 名は今

年度に学位取得の予定，あと 1 名は継続中) などの活動を行っています。ベトナムの Hanoi で開催されたこれまでの Japan-Vietnam Joint Seminar on Commutative Algebra には，本学の大学院学生も多数出席し，単なる参加ではなく講演を行うなどの実績があり，大学院 GP 活動の一つの目玉です。他に，ベトナムからは，GP 経費で延べ 30 名を超える研究者を本学に招聘しています。私たちと IMVAST の研究者の間には，すでにかんりの共同研究実績がありますし，日本側からも 30 名を超える研究者（他大学の研究者を含みます）が毎回参加しています。この活動はベトナムの若手研究者だけではなく，ベトナムの可換環論を背負っている Ngo Viet Truong, Nguyen Thai Hoa, Nguyen Tu Cuong 教授たちにとっても，非常に有意義なものです。

以上